

みかん

発芽期を 迎えます

果樹林産センター
杉本 悠太郎



4月に入ると芽・根などが活動し始めます。園地の観察を行い、計画的に管理を行いましょう。

《開花前の管理》

近年、樹ごとに花のバラつきが目立ちます。表年の樹裏年の樹を判断し、樹の状態にあった管理を行ってください。表年で花が多いと予想される樹では、発芽後に夏秋梢の全摘蕾全摘葉（スッコキ処理）を行うことで、処理枝から弱い春芽が出て翌年の結果母枝となります。（写真1）処理後の見た目が悪いかもしれませんが、何もせず新葉も

写真1 スッコキによる予備枝の作り方



ないベタ花樹の方が見た目も隔年結果にも悪いです。裏年が予想される樹は、蕾が見え始めてから、上に被さる枝の剪定や花の近くにある新梢の芽かきを行いましょう。

《葉面散布》

充実した子房を作ることので品質の良い果実生産につながります。花の充実のために、花芽が見える頃から開花まで尿素500倍を5〜7日置きに3回程度葉面散布しましょう。

《病害虫防除》

春は越冬した病害虫の活動が活発になり始めます。この時期に防除しておくことで生育期間中に急な発生で慌てるのが少なくなります。

冬季にマシン油を散布しなかった園地で

は、気温の上昇とともにミカンハダニが発生して緑化が遅れ、生理落果を助長するので防除しましょう。また、マシン油乳剤とアプロードFLを混用することでカイガラムシ（特にヤノネ）の防除効果が高まることわかっていきます。

そうか病は新梢が1cm程度に伸長する頃を目安に防除をしてください。発病している枝葉は剪除し、園外に持ち出してください

4月下旬

- ・ミカンハダニ マシン油乳剤（97%） 100倍
- ・カイガラムシ類 アプロードフロアブル 1000倍（14日〜3回）
- ・新梢1cm伸長時（4月下旬）
- ・そうか病 デランフロアブル 1000倍（30日〜3回）